

関東地方整備局 同時発表

平成30年3月28日
道路局企画課

全国初のETC2.0可搬型路側機を鎌倉に設置します ～エリア観光渋滞対策に向けデータ取得を開始～

国土交通省では、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策に取り組んでいくこととしています。

平成29年9月には、その実験実施地域として鎌倉市を選定し、有識者や地元関係者等とともに、既存のETC2.0等を活用した広域的な渋滞発生状況の分析に着手したところです。

このたび、鎌倉市の若宮大路において、全国で初めてETC2.0可搬型路側機を設置します。これにより、エリアプライシングを含む鎌倉エリアの観光渋滞対策の検討を進める上で必要となる

- ・ 地域内における詳細な車の流動（位置、速度、急ブレーキ、経路等のプローブ情報）
- ・ 鎌倉市内に流入する車両のETC車載器の搭載車数

のデータを機動的に収集することが可能となります。

■ 鎌倉市内への機器設置について（設置概要）

運用開始：平成30年3月30日開始予定

設置箇所：神奈川県鎌倉市由比ガ浜2丁目（別添図のとおり）

設置機器：ETC2.0可搬型路側機 1基

<お問合せ先>

[鎌倉エリア観光渋滞対策について]

国土交通省 道路局 企画課 篠田 宗純（内線：37552）

（代表）TEL：03-5253-8111（課直通）TEL：03-5253-8485 FAX：03-5253-1618

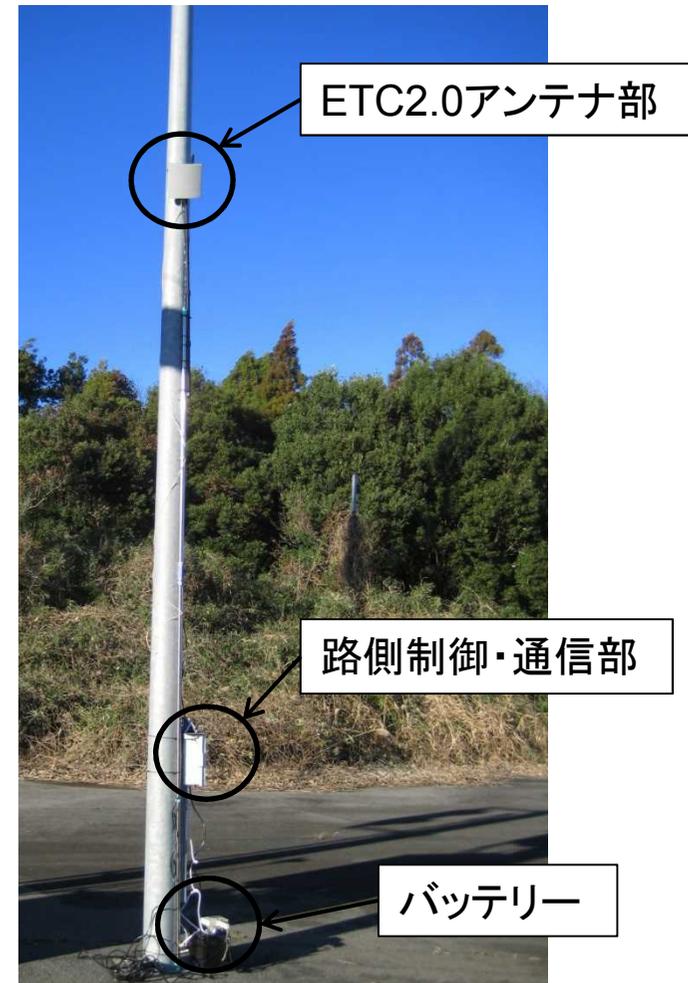
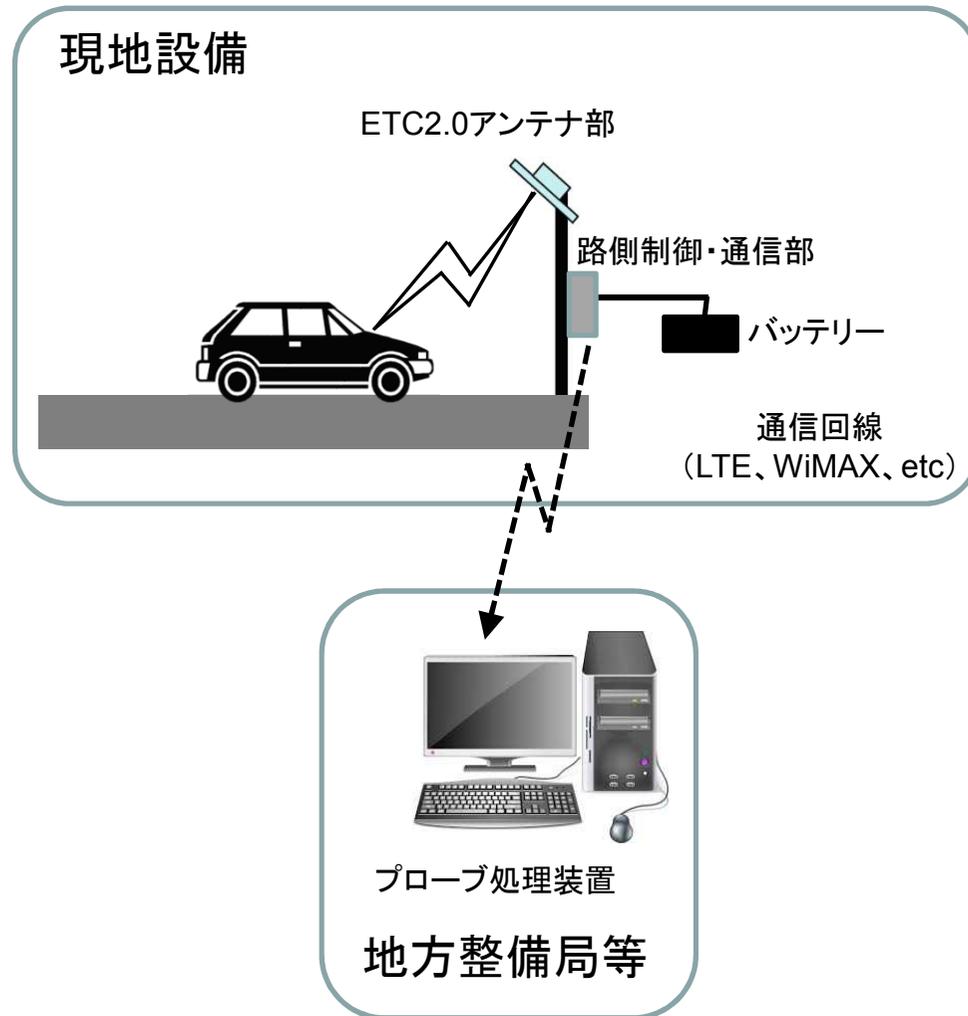
[ETC2.0可搬型路側機について]

国土交通省 道路局 道路交通管理課 宮永 悠平（内線：37462）

（代表）TEL：03-5253-8111（課直通）TEL：03-5253-8484 FAX：03-5253-1617

ETC2.0可搬型路側機について

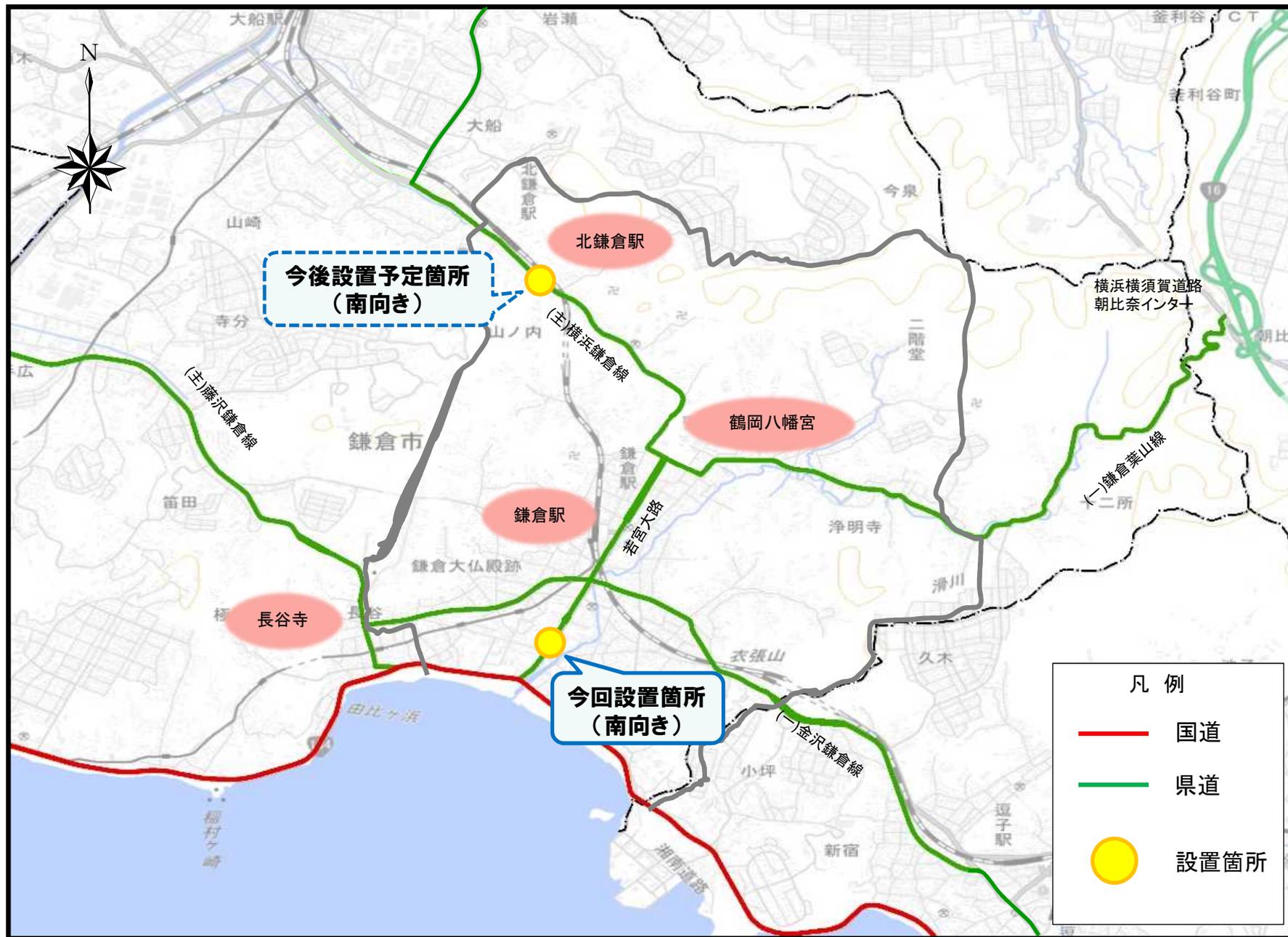
- 既存支柱に簡単に設置・撤去が可能であり、一定期間の調査に最適
- ETC2.0車載器のプローブ情報に加え、ETC車載器の情報も収集可能※



<設置イメージ>

※ ETC車載器の情報収集とETC2.0車載器の情報収集の機能を切り替えることが可能

ETC2.0可搬型路側機の設置位置



(参考) ICT・AIを活用した観光渋滞対策

- 観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消し、回遊性が高く、円滑な移動が可能な魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進・支援。

革新的な技術



ICT

- ETC2.0、高度化光ビーコン、AIカメラ等で人や車の動きを収集
- AIの分析・予測結果に基づき人や車の流れを最適化



AI

- 過去の渋滞発生履歴をAIが学習・分析
- 交通の変化をAIが判断し渋滞発生を予測

ビッグデータ(観光客・車・公共交通等)

エリアマネジメント

観光交通イノベーション地域



交通需要マネジメント(TDM)

信号制御、交通規制等

道路空間の再編

等

(参考) スケジュール

平成29年8月2日(水)～21日(月)

観光交通イノベーション地域※の公募

※ 国土交通省で、警察や観光部局とも連携しながら、
実験・実装を重点的に支援

※ 今後、エリアプライシングの導入を検討している地域

平成29年9月7日 地域選定

今後継続的に取組

実験(H29年秋以降、順次)

まずは、ETC2.0等の既存の技術をフル活用し
詳細分析をした上で、H30年度より新たな
技術の実証を行う予定

実装

他の観光地への展開

オープンイノベーション

(産・学)

- 新たな要素技術の公募
(平成30年1月23日～2月20日)
- オープンデータ
- 新たなエリアマネジメント方策
の提案

新技術を適用するための
制度検討 (官)